#### 卒業論文

### 測域センサの反射強度を利用した視覚と行動の end-to-end 学習による人追従行動の模倣

Imitation-based end-to-end learning for human tracking behavior using reflected intensity from range sensors

2023年12月14日提出

指導教員 林原 靖男 教授

千葉工業大学 先進工学部 未来ロボティクス学科 20C1102 **馬場** 琉生

### 概要

### 測域センサの反射強度を利用した視覚と行動の end-to-end 学習による人追従行動の模倣

hogehoge

キーワード: 人追従 , end-to-end 学習 , モバイルロボット

### abstract

Imitation-based end-to-end learning for human tracking behavior using reflected intensity from range sensors

keywords: Person following, End-to-end learning, Mobile robot

# 目次

第1章	序論	1
1.1	背景	1
1.2	目的	2
1.3	論文の構成	3
第2章	要素技術	4
2.1	end-to-end 学習	4
2.2	深層学習	5
	2.2.1 Convolutional Neural Network (CNN)	5
2.3	LiDAR	6
第3章	提案手法	7
3.1	提案手法の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3.2	学習フェーズ	8
3.3	追従フェーズ	9
3.4	ルールベース制御器	10
3.5	ネットワーク構造	11
第4章	実験	12
4.1	実験の手順	12
4.2	実験装置	13
4.3	実験方法	14
1.1	女田レ学家	15

目次	vi
第5章 結論	16
参考文献	17
付録	18
謝辞	19

# 図目次

1.1 Example	
-------------	--

# 表目次

### 第1章

### 序論

#### 1.1 背景

近年,機械学習を用いた自律移動に関しての研究が盛んに行われている.Bojarsky ら は,カメラ画像とステアリングの角度を教師信号とし,end-to-end 学習することで自動車の自動運転に成功している.説明追加



Fig. 1.1 Example

本研究室では,これらの技術を応用し,カメラ画像に基づく人追従行動を獲得している. ここでの教師信号はカメラ画像とルールベース制御器の出力である. 
 第1章 序論

### 1.2 目的

第1章 序論 3

#### 1.3 論文の構成

### 第2章

# 要素技術

2.1 end-to-end 学習

**第**2章 要素技術 5

#### 2.2 深層学習

2.2.1 Convolutional Neural Network (CNN)

第 2 章 要素技術 6

#### 2.3 LiDAR

### 第3章

# 提案手法

3.1 提案手法の概要

### 3.2 学習フェーズ

### 3.3 追従フェーズ

#### 3.4 ルールベース制御器

#### 3.5 ネットワーク構造

### 第4章

# 実験

4.1 実験の手順

第 4 章 実験 13

#### 4.2 実験装置

第 4 章 実験 14

#### 4.3 実験方法

第 4 章 実験 15

#### 4.4 結果と考察

第5章

結論

### 参考文献

[1] The robocup japanese regional committee — ロボカップとは. https://www.robocup.or.jp/robocup/. (Accessed on 12/29/2022).

## 付録

### 謝辞

本研究を進めるにあたり、1年に渡り、熱心にご指導を頂いた林原靖男教授に深く感謝いた します.